

中ノ岳八海山山行報告書

M4 田中李樹

○日程

2015 年 7 月 11 日 (土) ～12 日 (日)

○参加者(敬称略 2 名)

M4 田中 C2 上村

○行程

7 月 4 日(土)

しゃくなげ湖観光センター5:15～6:45 十字峡～8:45 四合目～9:30 五合目～12:00 九合目～12:30 中ノ岳山頂～12:35 中ノ岳避難小屋

7 月 5 日(日)

中ノ岳避難小屋 4:15～5:30 祓川～6:10 御月山～7:00 出雲先～8:00 オカメノゾキ～9:00 荒山～11:00 五竜岳～11:30 入道岳～12:30 大日岳～14:15 千本檜小屋～16:00 ロープウェイ山頂駅 16:20～(ロープウェイ)～16:35 八海山スキー場

○本文

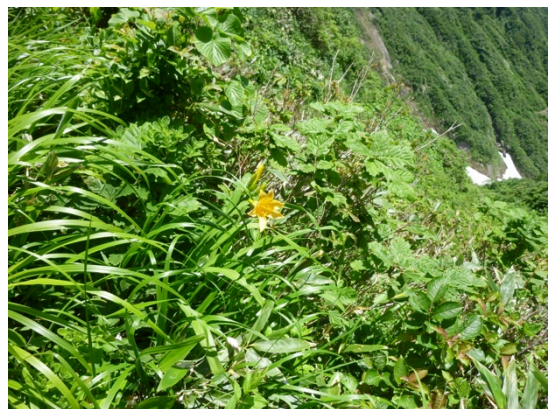
昨年秋に越後三山をすべて縦走する計画があったが、天候の影響で越後駒ヶ岳から中ノ岳の縦走になってしまった。今回はその続きで中ノ岳から八海山を繋いだ。山行の目的は八海山で八海山を飲むこと。

金曜夜に都内を出発し、しゃくなげ湖近くの駐車場で仮眠、4 時頃から歩き始め 6 時 45 分頃十字峡に到着した。ここから本格的に登山開始。登り始めから急登が続く。昨年出来ればこの道は登りたくないなと言いつつ、同じ道を下山したことを思い出す。だましまし登ると五合目あたりでやや平坦になり雪渓が現れた。この山域は山と高原地図のコースタイムがかなり余裕を持って設定されている印象で、特に急いだつもりもないが実際に掛った時間はコースタイムの半分程度。のんびり歩いていると七合目辺りからまた急登が始まる。この日は梅雨の合間で奇跡的に快晴に恵まれた。それは有難いのだが非常に暑く登りで少しバテてしまった。時間は十分あるので 30 分おきに休憩しながら登っていった。それでも予定より相当早く中ノ岳山頂に到着。昼過ぎから夕方まで時間が有り余っていたが、昼寝をしたり中ノ岳山頂でお酒を飲んだりしてまったり過ごした。15 時過ぎになると、その日登山道の草刈りをされていた中ノ岳救助隊ご一行が到着し、大宴会が始まった。その日避難小屋にいた 15 名ほどが集まって、18 時過ぎまで盛り上がっていた。私は有難いことに救助隊の長老のところに招かれてしまい、横にはサントリーレッドが 4L 置いてあった。長老は山菜採りの名手らしく、鉄門山岳部山菜採り班を設立した新潟に来るよう命じられた。善処したい。身の危険を感じつつも楽しく飲んでいたが、長老が早く酔っ払ってしまい案外あっさり宴会は終了。二十歳になったばかりの上村くんが少々心配だったが、楽しんでいただようだ。退屈せず過ごすことが出来、救助隊の皆様居合わせた登山者の方々に

感謝。

翌日は4時過ぎに小屋を出発。1時間しないうちに雪渓が現れる。ここで雪渓を3つ越えるのだが、夏道が雪渓の下に隠れているためルートを見つけるのが難しい。朝早くて雪が固く、私が必要以上に慎重になってしまったこともあり、祓川につくのが少し遅くなってしまった。この後はひたすら小ピークを登ったり下ったりを繰り返す。それほど難路という印象はないのだが、非常に急で土壌も滑りやすい傾斜を鎖に半分頼りながら下るところが幾つかあり、地面が濡れていると厄介だったと思う。昨日に続きコースタイムの設定は余裕があり、オカメノゾキにつく頃には計画より1時間ほど早くなった。オカメノゾキもあっさり超えてしまい余裕かなと思っていると、だんだん気温が上がってきて登りが非常に辛い。木々も殆ど無いため、ずっと背中を日に焼かれることになった。30分おきに休憩し、なんとか五竜岳に到着。中ノ岳からの縦走路では男性の単独行ばかり3人ほどしかすれ違わなかったが、ここまで来ると沢山の登山者がいる。12時半頃八ツ峰に辿り着いた。八ツ峰の鎖場はかなり長いものが多かったが、ゴツゴツしていて足場にはあまり困らない。天候さえ良ければ問題はないように思う。しかしそんなことよりも、日の照りつける岩場は恐ろしく暑く、完全にバテてしまった。千本檜小屋で冷たい飲み物を買うことだけを楽しみに進んでいったが、思っていたより随分時間がかかってしまった。小屋で5時間ぶりの日陰に入り、なんとか気力を回復した。ロープウェイ山頂駅までは2時間弱。途中の水場の水が美味しかった。山頂駅からは15分もかからずに下山した。もったいないような気もするが疲れきっていたので有難かった。

今回の山行で一番印象に残っているのは残念ながら尋常でない暑さだが、それを差し引くと非常に充実した楽しい山行だった。越後三山の山容はそれぞれ立派で、中ノ岳八海山の縦走路は変化に富んでいた。途中で見られた数えきれないほどの花々も記憶に残っている。

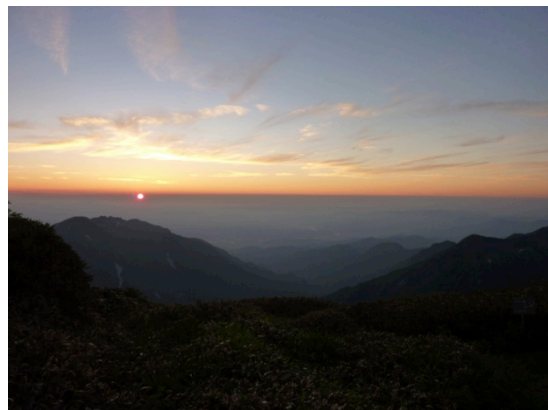


中ノ岳手前の雪渓

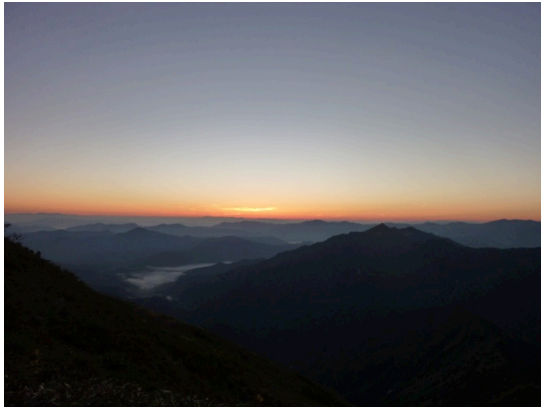


八海山とひらく君(20)

中ノ岳避難小屋と越後駒ヶ岳



八海山に沈む夕日



日の出前



縦走路



八海山から振り返った越後駒ヶ岳と中ノ岳



八ツ峰



長い鎖場



流石信仰の山



落ちそうで落ちない